



平成 23 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 大嶽昌宏
 (コード番号 7 2 7 6 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役総務部長 井上 敦
 (TEL 0 3 - 3 4 4 3 - 7 1 1 1)

第 2 四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 7 月 26 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想値(連結・個別)と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)業績予想値と実績値の差異について

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 188,500	百万円 8,000	百万円 8,000	百万円 2,500	円 銭 15.56
今回実績(B)	189,833	8,812	8,751	2,888	17.97
増減額(B-A)	1,333	812	751	388	—
増減率(%)	0.7	10.2	9.4	15.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	210,906	19,340	17,011	3,691	22.97

－ 2. 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 93,000	百万円 3,500	百万円 8,000	百万円 5,000	円 銭 31.11
今回実績(B)	95,200	4,831	9,751	6,564	40.85
増減額(B-A)	2,200	1,331	1,751	1,564	—
増減率(%)	2.4	38.0	21.9	31.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	112,763	9,157	13,261	5,058	31.47

2. 差異の理由

国内外における日本車の生産は、期前半、震災影響による生産停滞やサプライチェーンの問題等もあり、大幅に減産となりましたが、期後半における挽回生産が予想を上回ったことから、日本(個別)を主体に前回発表予想に対しまして増収となりました。

利益面においても、生産量の増加に加え、震災直後からの設備投資抑制、原価低減活動、節電等 合理化が奏功し、前回発表予想に対しまして増益となりました。

以 上